

# 名張かわまちづくり 第3回空間デザイン意見交換会 かわら版

## 第3回空間デザイン 意見交換会

### 次 第

1. 開会
2. 第1回の振り返り
3. 意見交換
4. 意見のまとめ
5. 閉会

日 時：令和5年7月27日 13:30~15:30

会 場：名張産業振興センター アスピア あすぴあ1

参加者：名張市民、商工会議所職員、名張市役所職員等 計9名

### 1. 開会・あいさつ (13:30)

#### ○開会宣言の後、名張市新谷室長よりあいさつ

本日の第3回目の意見交換会が最後となる。今回は意見交換会からの意見のとりまとめとして、実行部会で話し合えるように、前回までに頂いた意見をもとに積極的なご意見を頂きたい。

#### 続いて、まちづくり協議会会長より挨拶

全3回の意見交換会では幅広い層からの活発なご意見を多数いただきありがたい。意見交換会の結果は、まちづくり協議会や実行部会での話し合いのベースとなるので活発なご議論を期待する。

#### 続いて、ファシリテーター岩本氏の挨拶

意見交換会が今回で最後ということで、非常に寂しい思いもある。名張かわまちづくりがこれから素晴らしいものになるように今回の議論をとりまとめていきたい。

### 2. 第2回意見交換会振り返り (13:40)

#### ○事務局より第2回意見交換会の振り返りを説明

第2回意見交換会では、①コンセプトに関するしぼりこみ②ソフト・利活用③ハード整備、運営について説明を行った上で、2班に分かれて意見を頂いた。

A班では水生生物・昆虫についての学習ができるような自然体験ゾーン、桜並木、コンクリート広場や芝生広場、歩行者が橋の下を通れるような動線等の整備を求める意見が得られた。

B班では自由に遊べる広い河川敷や緩傾斜堤防、飛び石の設置、50年後、100年度の将来に向けてあまり作りこまない整備に加えて、地域の相互協力による川の危険を学ぶ場を設けた上で、小中学校による体験学習の義務化などが良い等の意見を頂いた。また、石投げ大会等の水辺を活用したイベントを企画することで川に対する多様な利用性を高めるきっかけとなるのではないかとという意見も頂いた。



### 3. 意見交換 (14 : 00)

#### ○事務局及び岩本氏より資料説明

第2回意見交換会で出た意見のゾーニング、A班、B班の計画図及び統合案の計画図及びイメージの説明を行った。

参加者からは、「第一印象としてどちらの案も楽しそうだったと思うが、どちらの案にしても中途半端だと思った。子供たちが遊ぶにしても広さがあまりない。広さの制約があるので大阪の淀川敷や東京の荒川敷と同じようにはいかないかもしれないが、子供たちが水辺に親しんで水に対するリテラシーがあがり、旧市街地に接する場としても機能することは良いことと思う。」「教育の場とするため、子供たちがもっと水辺に親しめ寄り付きやすい空間となれば良い。例えば公園で禁止されているボール遊びも河川敷なら許可するとして高水敷を広くすることで、もう少し平面的な広さがあると子供たちが水辺に降りやすくそこで遊びやすくなる。」「あまり作りこまないということで、利用するにあたり将来的に多くの人が必要になってくるのではないかと思う。この場所を愛してくれる人をいかにして増やしていくのか、そのことによって将来的に利用しやすい場所になっていく。」「飛び石が合流地点の近くなので流れが速かったり、水量が多いと浸かってしまうので注意が必要。」「原っぱのヨシの面積が広いので水辺に近寄りにくくなっている。魚や水生昆虫の観察の場になると楽しそうなので自然の場所を残しつつもう少し原っぱを開けた場所にした方が良い。」「ワンドや原っぱなどサイエンスコミュニケーションの場になれば良いと思う。安全に元の姿を残しつつ使えるような、人を育てる・見つけるようなところに価値を置くと素敵な空間になると思う。芝生広場が広いので維持管理の面で草刈りなど最初から考えておかないといけないと思う。」などの意見が得られた。

水辺に降りやすい整備、保護者が子供たちを見守る場、駐車場が必要であるという意見を頂いた。

堤防を緩傾斜堤防とするか、中段広場とするかについて参加者に対して多数決を取ったが、どちらかに決められないという意見が大半であった。

緩傾斜堤防の場合には、今のゆるやかな堤防の空間を再現した整備をすることができる上に、中段広場と比較して見通しがよいため、保護者が見守りやすいというメリットもある。



### 4. 意見のまとめ

#### ○名張市新谷室長より挨拶

市としては提案いただいたかわまちづくりのコンセプトやデザインを基にして名張川の改修事業より創出される親水空間であるかわまちエリアと隣接する中心市街地であるまちなかエリアと連携した水辺空間の整備により初瀬街道を活用した歴史的な街並みとつながりある回遊性の向上性をはかり、市民の方々が誇りと愛着を感じられるような名張の顔となるような魅力的な水辺空間の拠点となるよう地域活性をつなげていきたい。

### 5. 閉会

#### ○今後の進め方について

全3回の意見交換会の結果を実行部会や協議会で共有、検討を進めていくことの説明を行った。